

令和2年度事業

三川町行政評価調書

【施策評価調書】

令和3年12月

三川町

令和2年度事業 三川町行政評価調書 評価対象項目一覧（目次）

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ
1 1 健やかに産み育てられる環境の整備				
	1	母子保健の推進		1
		1 母子保健事業	健康福祉	
		2 特定不妊治療費助成事業	健康福祉	
	2	ゆとりある子育て環境の整備		2
		19 子育て支援センター事業	健康福祉	
		20 子育て支援事業	健康福祉	
		21 子育て支援医療給付事業	町民	
		24 子育て交流施設整備事業	健康福祉	3
1 2 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成				
	1	生きる力を育む学校教育の推進		4
		3 保育園感性情操教育推進事業	健康福祉	
		5 外国語活動推進事業	教育委員会	
		6 育英奨学資金造成事業	教育委員会	
		7 教育課題研究推進事業	教育委員会	5
		8 特別支援教育推進事業	教育委員会	
		9 小学校教育振興費・教育機器等整備事業	教育委員会	
		10 学校教育支援員設置事業	教育委員会	
		11 小学校感性情操教育推進事業	教育委員会	
		12 小学校図書整備事業	教育委員会	
		13 中学校教育振興費・教育機器等整備事業	教育委員会	6
		14 中学校図書整備事業	教育委員会	
		15 中学校通学バス支援事業	教育委員会	
		16 学力向上対策事業	教育委員会	
		17 中学校感性情操教育推進事業	教育委員会	
		4 幼稚園感性情操教育推進事業	教育委員会	
		18 教育施設整備基金造成事業	教育委員会	7
	2	地域との連携による教育力の向上		8
		25 放課後子ども教室推進事業	教育委員会	
		22 学童保育支援事業	健康福祉	

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ
1 3	健康で安心して暮らせる地域社会の構築			
	2	健康づくりの推進		9
		48 健康増進事業	健康福祉	
	3	高齢者福祉の充実		10
		40 在宅介護支援事業	健康福祉	
		41 社会福祉法人等支援事業（老人福祉費）	健康福祉	
		42 寿賀敬老事業	健康福祉	
		43 高齢者地域活動支援事業	健康福祉	11
		44 高年齢者就業機会確保事業	健康福祉	
	5	障害者福祉の充実		12
		45 障害者在宅生活等支援事業	健康福祉	
		47 身体障害者等社会参加・通院支援事業	健康福祉	
		46 社会福祉法人等支援事業（障害者福祉費）	健康福祉	
	6	援助を必要とする個人や家族の自立支援		13
		38 社会福祉法人等支援事業（社会福祉総務費）	健康福祉	
		39 生活支援事業	健康福祉	
	1 4	一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現		
1		自主活動につながる社会教育の推進		14
		27 公民館図書整備事業	教育委員会	
		28 社会教育団体等活動推進事業	教育委員会	
		29 成人式開催事業	教育委員会	
		30 生涯学習活動実践事業	教育委員会	15
		26 青少年自然体験事業	教育委員会	
		31 町内会公民館等整備事業	教育委員会	
2		スポーツ・レクリエーションの振興		16
		32 社会体育団体等活動推進事業	教育委員会	
		33 生涯スポーツ推進事業	教育委員会	
		34 社会体育施設整備事業	教育委員会	
3		芸術文化の育成・継承・活用		17
		35 文化財保護保存事業	教育委員会	
	36 芸術文化祭事業	教育委員会		
	37 文化交流館事業	教育委員会		

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ		
1 5	豊かな自然環境の保全					
	1	資源循環型社会の構築		18		
			95 ごみ減量化等促進対策事業		建設環境	
			96 廃棄物処理事業		建設環境	
	2	親しまれ愛される自然環境の保全		19		
			97 みどり環境推進事業		産業振興	
	3	限られた資源の有効利用		20		
			98 地球温暖化防止推進事業		建設環境	
	1 6	魅力的な居住空間の創造				
		1	快適で利便性の高い居住環境の整備		21	
			90 住まいづくり支援事業	建設環境		
			79 移住定住促進事業	建設環境		
			91 雨水対策推進事業	建設環境		
2		魅力ある公園や緑地の整備		22		
			93 かわまちづくり整備事業		建設環境	
			94 都市公園整備事業		建設環境	
1 7	安全で利便性の高い生活基盤の整備					
	1	交通網の充実		23		
			86 高速交通網整備促進対策事業		企画調整	
			87 地域公共交通推進事業		企画調整	
			82 道路舗装事業		建設環境	
			83 側溝整備事業		建設環境	24
			84 道路安全施設整備事業		建設環境	
			85 橋梁長寿命化対策事業		建設環境	
	3	住宅の安全性や安定したライフラインの確保		25		
			88 防雪対策事業		建設環境	
			92 空き家対策支援事業		建設環境	
	5	住宅の安全性や安定したライフラインの確保（下水特会）		26		
			89 下水道事業		建設環境	
1 8	防犯・防災・交通安全対策の充実					
	1	防犯対策の強化		27		
			56 安全で明るい町づくり推進整備事業		総務	

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ
	2	災害対応力の強化		28
		54 常備消防事務委託事業	総務	
		55 消防ポンプ整備事業	総務	
		49 自主防災組織育成助成事業	総務	
		50 地域防災事業	総務	29
		51 公共施設長寿命化対策事業（社会教育）	教育委員会	
		52 公共施設長寿命化対策事業（総務）	総務	
		53 公共施設長寿命化対策事業（学校教育）	教育委員会	
1 9 発展性の高い土地利用の推進				
	1	地域特性に応じた土地利用の推進		30
		81 地域開発推進事業	企画調整	
2 1 活力ある産業の育成				
	1	活力ある農業生産活動の育成と支援		31
		57 流通対策事業	産業振興	
		58 食のまちづくり推進事業	産業振興	
		60 瑞穂の郷づくり事業	産業振興	
		63 国営水利施設管理体制整備促進事業	産業振興	32
		65 経営改善支援活動事業	農業委員会	
		59 はっぴー米メモリアル事業	産業振興	
		64 土地改良施設等整備事業	産業振興	
		66 リーディングファーマーズ銀行事業	産業振興	
		67 多面的機能支払交付金事業	産業振興	
		68 環境保全型農業直接支援対策事業	産業振興	33
		61 農産所得拡大支援事業	産業振興	
		69 人・農地プラン推進事業	産業振興	
		62 新農業所得構造改革推進事業	産業振興	
	2	魅力と成長力に富んだ商工業活動の振興		34
		71 地域おこし協力隊活動支援事業	産業振興	
		73 勤労者福祉対策支援事業	産業振興	
		70 中小企業等振興支援事業	産業振興	
		80 若者定着奨励金返還支援事業	産業振興	35
		72 「田から(宝)もの」逸品開発事業	産業振興	

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ
2 2	交流人口の拡大			
	1	交流基盤の再構築		36
		74 「いろり火の里」推進事業	企画調整	
	2	交流基盤の強化		37
		76 婚活推進事業	企画調整	
		77 ふるさと会交流促進事業	産業振興	
		75 観光対策事業	産業振興	
		78 国際交流推進事業	教育委員会	38
2 3	協働の推進			
	2	協働の推進		39
		99 協働のまちづくり推進事業	企画調整	
		100 地域づくり活動推進事業	企画調整	
		104 総合計画策定事業	企画調整	
2 4	行財政改革の推進			
	1	行政サービスの質的な向上		40
		103 電子情報化推進事業	企画調整	
		102 行政事務システム化推進事業	企画調整	
		105 戸籍システム推進事業	町民	
		106 学校給食調理業務等委託事業	教育委員会	41
	2	人材育成と組織・機構の見直し		42
		101 職員研修事業	総務	

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	11 健やかに産み育てられる環境の整備	
施策 ※第3次	01 母子保健の推進	
内容	<p>【現状】 少子化・核家族化の傾向は続いており、子育て家庭の経済的・精神的支援とともに、子育てを社会全体で支えあう環境の整備が求められている。 そのなかで、健やかに産み育てる環境を整え、妊産婦・乳幼児の健康の確保、子育て親子の交流、育児不安の軽減を図るとともに、関係機関と連携しながら子育て支援を行う。また、予防接種により疾病予防につなげる。</p> <p>【課題】 子育て家庭の価値観の多様化や要望等にも配慮しながら、子育て支援に取り組む必要があるが、これらの事業の多くは、国・県の施策によるところが大きく、その動向を踏まえて町としての施策を考える必要がある。</p>	
【外部評価結果】 ① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】 顔の見える細やかな対応評価できる。特定不妊治療に対する助成制度については国等の動向を注視しながら、妊娠・出産・子育てについて今後もきめ細やかな対応を継続していただきたい。	
【事業】 1 母子保健事業	【所管】 健康福祉課健康係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○妊婦・乳幼児健診の実施 ○妊産婦・乳幼児相談指導等の実施 ○子育て学習会・歯科保健の実施 ○産前・産後の妊産婦に対する支援		妊産婦・乳幼児共にきめ細かな支援が必要なケースが増加しており、関係機関との連携を図りながら支援を実施している。R元年度に母子健康包括支援センターの設置、及び妊娠・出産包括支援事業の開始、R2年度には産後ケア事業の開始により切れ目のない支援体制整備を行った。
【事業】 2 特定不妊治療費給付事業	【所管】 健康福祉課健康係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○特定不妊治療費の全額又は一部助成		R3年度には県助成の拡充に合わせ、町でも助成の拡充を行うことで治療を受ける方に経済的負担の軽減につながっている。また、周知に関してホームページへの掲載の他、保健所・医療機関と連携を図りながら広く行うことで、利用拡大が期待できる。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	11 健やかに産み育てられる環境の整備	
施策 ※第3次	02 ゆとりある子育て環境の整備	
内容	<p>【現状】 少子化が進むなか、子育てしやすい環境をつくることが求められ、就学前乳幼児及び小中学校の児童・生徒の健やかな成長と子育て支援を行うにあたり公平かつ適正な制度運用を図っていく必要がある。 医療給付については、平成23年度から小中学生の通院も対象として拡大したことから、中学生までの子を持つ保護者にとって、医療費の自己負担に対する助成という側面からの子育て支援は、一定の役割を果たしていると思われる。</p> <p>【課題】 子育て支援として、子育て先輩ママから新米ママへの子育て情報の提供やアドバイス、子育てサークル活動への支援も視野に入れた事業の実施が求められる。</p>	
【外部評価結果】 <input checked="" type="radio"/> ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所見】 子育て交流施設「テオトル」の町民利用をより促進しつつ、出産祝金等の各種子育て支援事業の推進に引き続き取り組んでいただきたい。	
【事業】 19 子育て支援センター事業	【所管】 健康福祉課子ども支援係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 <input type="checkbox"/> 遊び・交流の場の提供 <input type="checkbox"/> 育児不安等に対する相談指導 <input type="checkbox"/> 子育て情報の提供 <input type="checkbox"/> 一時預かりの実施		令和2年7月から子育て交流施設に移転、運営を民間事業者に委託して事業を実施し、町内外多くの子育て世代の方の利用があった。子育て支援として、親子の交流の場の提供や子育てサークル支援、子育て相談、未就園児の一時預かり等を実施した。今後も子育てに関する様々な支援を行う拠点となるよう事業をさらに拡充し、実施していく必要がある。
【事業】 20 子育て支援事業	【所管】 健康福祉課子家庭支援係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 <input type="checkbox"/> 出産祝金の支給		子育てにかかる経済的支援ということで、対象世帯はほぼ確実に申請をしており、今後も継続した支援が必要である。
【事業】 21 子育て支援医療給付事業	【所管】 町民課国保係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 <input type="checkbox"/> 就学前乳幼児及び小中学生の医療費に係る一部負担金の全額助成 <input type="checkbox"/> 出生体重が2000g以下、または身体の発育が未熟のまま出生した0歳児への入院医療費の公費助成		子育て支援医療給付事業による医療費の一部負担金の全額助成は、子育て支援における重要な事業であり、その成果が得られている。また、養育医療は子育て支援医療給付事業と併用することで、医療費の負担の軽減が図られた。 18歳までの対象年齢の拡大について、近隣市町の動向を注視しながら、その検討が必要である。

【事業】 24 子育て交流施設整備事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : A 達成できている
【取組】 ○子育て交流施設の建設 【令和2年度で事業終了】		【今後の方向性】 : 1 事業完了による終了 【所見】 : 工事及び備品納入について、工程管理を確実に行ったことから工期内に建物が完成し、当初計画のとおり開所することができた。
【事業】 23 保育所等施設整備支援事業	【所管】 健康福祉課子ども支援係	【評価結果】 : A 達成できている
【取組】 ○民間事業者の保育所等の施設整備に対する補助金の交付 【令和2年度で事業終了】		【今後の方向性】 : 1 事業完了による終了 【所見】 : 令和3年3月末に園舎が完成し、施設整備に対する補助金の交付を行った。町内に新たな施設ができたことにより、保育需要の増加への対応が可能となった。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	12 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成	
施策 ※第3次	01 生きる力を育む学校教育の推進	
内容	<p>【現状】 ○確実な学力習得に対する支援 ○多様な教育課題への対応 ○保・幼・小・中の連携と一貫性のある教育の推進 ○安全、安心な教育環境の整備 「知・徳・体」の調和のとれた学校教育により、生きる力を培うことが求められている。 ※平成24年度で三川中学校改築事業は完了し、すべての教育環境が整った。</p> <p>【課題】 習熟度に応じた学習指導体制や障害の程度や発達段階に応じた特別支援教育体制を整えることにより、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進することが課題となっている。 また、増えつつある軽度発達障害を抱える児童生徒に対しては、個別的な対応支援が必要な状況にある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	育英奨学金の貸付については、返済の期間を長く設定しており、また返済の滞納者を出さずことなく運営しており評価できる。 情報機器を利用した授業については、全国的にははじめにつながるような事例もある中、町は必要な対策をとっている。機器の更新も見据えながら引き続き活用していただきたい。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C あまり達成できていない
3 保育園感性情操教育推進事業	健康福祉課子ども支援係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 : 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は未実施であったが、感性・情操を豊かにするためには、幼児期に芸術文化に触れ、長い時間をかけて育成し、継続することで効果が期待できるものであるため、引き続き事業を行うことが必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
5 外国語活動推進事業	教育委員会教育課学校教育係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 : 幼児・学童期にネイティブスピーカーとの会話を経験することは非常によい体験である。また、児童・生徒の英語に関する関心と授業における積極性向上に関して、英語指導員の貢献を高く評価している。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
6 育英奨学資金造成事業	教育委員会教育課学校教育係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 : 家庭の経済的理由により進学が困難な学生を支援するため、基金を造成して無利子貸付を行っている。貸付を受けている学生の保護者から高い評価を受けている。コロナ禍が経済的な面にも影響を及ぼしていることを考慮し、幅広く本事業の周知を図っていく必要がある。

【事業】 7 教育課題研究推進事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 児童一人ひとりへの個別の支援指導が求められているなか、様々な教育課題がある。それらの課題解決には保幼小中学校等の連携が増々重要となっており、今後も課題解決に向け事業を継続していく必要がある。R2年度はコロナにより開催できなかったものがあるが、R3年度より三川町教育研究所の組織体制を見直しながらより効果的な取組みを進めていく。
【取組】 ○教育課題の解決に向けた調査研究業務の委託 ○研修会の開催		
【事業】 8 特別支援教育推進事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 特別な支援を必要としている児童・生徒の視点に立ち、個々のニーズを的確に把握することにより、適切な指導と必要な支援を総合的に推進している。対象人員等に合わせて支援員等の配置を調整している。
【取組】 ○学校支援員、特別支援教育等支援員、特別支援学級支援員の配置		
【事業】 9 小学校教育振興費・教育機器等整備事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 : 学校の要望内容を精査し、予算の範囲内で教育機器整備を進めている。今後もGIGAスクール構想によるタブレットやデジタル教科書等を活用し、情報通信技術（ICT）を用いた学習環境の整備を進めていく必要がある。
【取組】 ○学習教材・情報教育機器等の整備		
【事業】 10 学校教育支援員設置事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 学級担任と学校教育支援員による少人数授業やTT指導により個に応じたきめ細かな指導を継続している。特に、軽度の発達障害を抱える児童が増加しているため、特別な教育的指導や支援をするための学校教育支援員の配置継続が求められているところであるが、人材確保が課題となっている。
【取組】 ○学校教育支援員の設置によるチームティーチング指導と少人数指導 ○軽度な発達障害を抱える児童・生徒の学習支援		
【事業】 11 小学校感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 3校合同の演劇教室と音楽鑑賞教室を行うなど効率的な事業執行を行っている。R2年度はコロナにより開催中止となった教室があるものの、児童の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけて育成しなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。
【取組】 ○小学校における芸術文化体験事業の実施		
【事業】 12 小学校図書整備事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 児童の豊かな心を育み、読解力を養うためには数多くの読書が必要であり、そのためには子供達に関心を持つ図書を整備することが必要である。今後とも文部科学省の分類に基づいた偏りのない図書整備を継続する必要がある。
【取組】 ○学校図書の整備・充実		

【事業】 13 中学校教育振興費・教育機器等整備事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 ○学習教材・情報教育機器等の整備		学校の要望内容を精査し、予算の範囲内で教育機器整備を進めている。今後もGIGAスクール構想によるタブレットやデジタル教科書等を活用し、情報通信技術（ICT）を用いた学習環境の整備を進めていく必要がある。
【事業】 14 中学校図書整備事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○学校図書の整備・充実		生徒の豊かな心を育み、読解力を養うためには数多くの読書が必要であり、そのためには生徒が関心を持つ図書を整備する必要がある。今後とも文部科学省の分類基準に基づいた偏りのない図書整備を継続する必要がある。
【事業】 15 中学校通学バス支援事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○三川中学校冬季通学バス運行委員会が運行する通学バスの運行費用に対する助成		保護者で組織する冬季通学バス運行委員会の通学バスは、自転車通学生徒の冬季間の安全確保のためには効果的な事業である。運行経費が増嵩しているため、受益者負担の割合等を勘案しながら運行委員会に対する支援を継続していく必要がある。
【事業】 16 学力向上対策事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 ○オンラインサービスによる学習教材の充実（デジタルドリル・学習動画配信サービスへの取り組み）		学力向上を図るためR2年度から中学生を対象にオンラインによる学習教材の提供を行った。個人のペースでかつ家庭でも取り組みができ、さらに学校休校になった場合でも活用可能であることから有効と思われる。今後は利用率の向上を図りつつ、提供対象を小学校高学年にも拡大しながら進めてまいりたい。
【事業】 17 中学校感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○中学校における芸術文化体験事業の実施		R2年度はコロナにより開催中止となったものの、生徒の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。
【事業】 4 幼稚園感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○幼稚園における芸術文化体験事業の実施		新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は未実施であったが、感性・情操を豊かにするためには、幼児期に芸術文化に触れ、長い時間をかけて育成し、継続することで効果が期待できるものであるため、引き続き事業を行うことが必要である。

【事業】 18 教育施設整備基金造成事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている
【取組】 ○教育施設整備基金の造成・運用		【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 町の一般財源負担を軽減しながら教育施設整備事業を円滑に推進するため、造成事業を行っている。今後の教育施設整備の状況に合わせ基金の造成を行っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	12 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成	
施策 ※第3次	02 地域との連携による教育力の向上	
内容	<p>【現状】 出生率の低下に伴い乳幼児は年々減少しており、同級生となる子どもがいないなど地域における環境は変化している。また、人口の増減に比して世帯数は増えており、放課後の子ども達を取り巻く状況は、地域の大人と子どもとの繋がりが低下しており、それに伴う子どもの社会力や地域力が低下している現状にある。</p> <p>【課題】 共働きや核家族化など、集落内だけでは、解決できない問題があることから、コンパクトな行政規模であることを活かした事業展開が必要である。 公民館事業のうち、子育て支援センターと似たような事業にならないよう、相互の連携が必要である。 また、学童保育については、利用児童数の増加に伴うハード面の整備も課題となっている。</p>	
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所見】 学童保育をテオトルに移設し、運営主体を民間に事業継承し、充実した運営体制をとられていることは評価できるが、桜木住環境整備事業などにより今後も児童が増えることが予想されるため、受け入れ体制などの対策を検討していただきたい。	
【事業】 25 放課後子ども教室推進事業	【所管】 教育委員会教育課 社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○小学校施設の地域開放 ○地域住民と連携した子どもの居場所づくりの推進 ○自然体験学習等の開催		地域の教育力の活用及び活性化を図るとともに、体験活動や異年齢交流を通し、子供たちの生きる力を育成する事業として実施している。 令和2年度については、コロナ禍のため中止となった事業が多数であった。感染拡大防止に努めながら効果的な事業を企画していく必要がある。
【事業】 22 学童保育支援事業	【所管】 健康福祉課 子ども支援係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○学童保育所運営事業者に対する補助 ○利用料補助による保護者負担の軽減 ○学童保育の活動場所の提供、施設の維持管理		令和2年度より保護者会中心の運営協議会から民間事業者へ運営の事業継承を行い、保護者の負担軽減及び運営基盤の強化が図られた。また、老朽化した施設の代替え施設として、子育て交流施設へ移転し、施設設備面の環境も改善された。保護者が安心して就労等を行うために必要不可欠な場・組織であり、今後も支援していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策 ※第3次	02 健康づくりの推進	
内容	【現状】 町民の健康の保持増進を図るための生活習慣病対策や心の健康づくり等への取り組みを行っている。また、各種検診の受診率向上や、健康教室等の参加者増に向けて、住民の理解を得ながら、今後とも各種機関・団体等と連携しながら健康づくりに取り組む必要がある。	
	【課題】 国の方針で、平成21年より特定年齢に対する検診費用の無料化が進められていることから、一層の受診率向上に努めなければならない。また、各種教室（健康教育）や健康相談においては、内容の工夫とともに、住民がより参加しやすい方法を模索していく必要がある。	
【外部評価結果】		【所見】
① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		検診の受診勧奨等の取り組み評価できる。今後も町民の健康づくりの推進について、各種事業を通じて引き続き取り組んでいただきたい。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
48 健康増進事業	健康福祉課健康係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 :
○健康診断及び各種がん検診の実施 ○健康づくり相談・訪問指導等の実施 ○病態別健康教室の実施 ○健康マイレージチャレンジの実施		コロナ禍である中でも、がん検診の受診率向上及び精密検査の対象者全員受診にむけて継続して受診勧奨を行っている。また、マイチャレンジ事業や体組成計の活用により、町民の健康づくりへの意識が健康づくり自主活動の継続につながっている。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築		
施策 ※第3次	03 高齢者福祉の充実		
内容	<p>【現状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯も増加する中、高齢者が自らの健康の保持増進に積極的に取り組み、自立した生活を送れるような生きがいがづくりに取り組んでいる。</p> <p>【課題】 高齢者が孤立することなく、住み慣れた地域の中で生きがいをもって安心して暮らすことができるよう地域・関係機関団体・行政が連携しながら事業推進していく必要がある。 寿賀のつどいへの参加は目標の4割を維持できている一方で、年々老人クラブへの加入率が低下していることが懸念される。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	寿賀敬老事業について、実施方法等の見直しが行われており評価できる。高齢者の相互交流や生きがいがづくりの場である老人クラブについては、役員負担の在り方や組織体制等の見直しが必要であり、町からも引き続き支援いただきたい。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
40 在宅介護支援事業	健康福祉課介護支援係	【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取組】		【所見】 :	
○介護人手当の支給 ○高齢者通院等支援サービスの実施		在宅で介護している方は、精神的・経済的な負担が大きいことから、今後も継続した負担軽減の支援が必要である。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A 達成できている	
41 社会福祉法人等支援事業（老人福祉費）	健康福祉課福祉係	【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取組】		【所見】 :	
○特別養護老人ホーム増築に係る事業費の負担		常時介護の必要な認知症等の高齢者は、今後も増加することが見込まれることから、特別養護老人ホームの安定した運営支援が必要である。 なお、令和3年度で施設整備に対する支援は終了予定である。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C あまり達成できていない	
42 寿賀敬老事業	健康福祉課福祉係	【今後の方向性】 : 5 縮小の方向で検討すべき	
【取組】		【所見】 :	
○長寿祝金等の贈呈 ○最高齢者、歳祝該当者、金婚者に対する賀詞・祝品等の贈呈		寿賀のつどい開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止したが、年々参加者が減少傾向にあり、住民の方々からの意見を踏まえ、令和3年度より廃止することとしている。なお、長年にわたり地域社会の発展に貢献された高齢者の労をねぎらうためにも、長寿祝金等については継続して実施する必要がある。	

【事業】 43 高齢者地域活動支援事業	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要 【所見】 :
【取組】 ○老人クラブ活動の支援		老人クラブ連合会及び単位老人クラブの会員数は減少しているものの、高齢者の相互交流や生きがいをづくりの場として引き続き支援していく。また、今後の老人クラブの持続的な活動に対し、新たな会員の確保につながる取り組みについて検討する必要がある。
【事業】 44 高年齢者就業機会確保事業	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○シルバー人材センターに対する支援		高年齢者の経験や技術を活かした就業機会を確保する機関の安定運営のため、今後も継続した支援が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策 ※第3次	05 障害者福祉の充実	
内容	<p>【現状】 現代社会において、ノーマライゼーションの理念は浸透しつつあるものの、道路、建物等における物理的障壁のみならず、資格制限等制度や意識面での障壁など、さまざまな障壁があるのが現実である。 障害者総合支援法による障害福祉サービス及び町独自の障害者施策によるサービスの提供を行っているところである。</p> <p>【課題】 ノーマライゼーションの理念を浸透するべく、日ごろからの啓発活動に努め、制度の周知や相談支援の充実に努める必要がある。 障害者あるいは、その家族が抱える課題をもとに適切な障害者福祉サービスの提供が求められる。</p>	
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所見】 日中預かり事業等の各種サービスを今後も継続しつつ、障害者へのノーマライゼーション意識醸成に向けた発信など、障害者に優しい環境の充実に努めていただきたい。	
【事業】 45 障害者在宅生活等支援事業	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 事業対象者は、恒常的に介護が必要な障害者又はその家族であり、その精神的・経済的な負担は大きいことから、今後も継続した負担軽減の支援が必要である。
【取組】 ○介護人手当ての支給 ○障害者に対するおむつの支給 ○重度身体障害者（児）自動車用燃料費助成 他		
【事業】 47 身体障害者等社会参加・通院支援事業	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 1 事業完了による終了 【所見】 : 在宅で生活する障害者（児）を経済的に支援することで、自立と社会参加の促進が図られていることから、今後も継続して支援していく必要がある。本事業については、令和3年度より障害者在宅生活等支援事業へ統合することとしている。
【取組】 ○障害者支援施設等通所交通費の助成 ○重度身体障害者自動車燃料費の助成 ○心身障害者福祉タクシーの利用扶助 ○人工透析患者通院交通費の助成		
【事業】 46 社会福祉法人等支援事業（障害者福祉費）	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 障害者相互の交流、社会参加の促進を目的に支援している。団体を所管する社会福祉協議会と連携して支援の継続を図る。
【取組】 ○福祉団体の活動に対する支援		

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策 ※第3次	06 援助を必要とする個人や家族の自立支援	
内容	<p>【現状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中、高齢者が健康で自立した生活を送れるようサービス提供を行っている。</p> <p>【課題】 高齢者が住みなれた地域で健康で安心した生活を送るためには、家庭・地域・関係機関団体及び行政が連携して行う必要がある。 地域包括支援センターや民生委員等との連携により対象者の把握に努めながら、高齢者に対する細やかな生活支援を推進していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】 高齢者の買い物やごみ出し、免許返納による移送手段の確保等の諸課題に対して、地域や民生委員、関係機関等と連携を図りながら、解決に向けた取り組みを進めていただきたい。	
【事業】 38 社会福祉法人等支援事業（社会福祉総務費）	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 ： B 概ね達成できている 【今後の方向性】 ： 2 現状維持 【所見】 ：
【取組】 ○社会福祉法人、社会福祉団体の活動に対する補助		団体の設立目的に沿った活動がなされており、地域福祉の推進に不可欠な団体の安定運営のために、今後も支援を継続する必要がある。
【事業】 39 生活支援事業	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 ： B 概ね達成できている 【今後の方向性】 ： 2 現状維持 【所見】 ：
【取組】 ○寝具洗濯乾燥等事業費の助成 ○緊急通報システム事業費の助成		今後も支援の継続と併せて、町広報の活用、民生児童委員による周知等により利用促進を図っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ： 【所見】 ：
【取組】		

令和2年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第3次	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現	
施策 ※第3次	01 自主活動につながる社会教育の推進	
内容	<p>【現状】 生涯学習活動を通じて、それぞれの年代毎に事業を実施し、自主活動に結び付けることを目的としている。団体活動等については、行政側が事務局を担わざるを得ない状況である。</p> <p>【課題】 事業の詳細については毎年少しずつ変化をつけているものの、マンネリ化と言われている。社会教育にとって継続しなければならない事業もあるが、事業展開をする上では、スクラップアンドビルドを意識しながら、今後検討しなければならない。</p>	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所見】 だがしや楽校については、子どもたちに人気のある事業であるため、運営主体に関わらず事業実施を継続していただきたい。ざっこしめなどの社会教育事業の実施にあたっては、パーク赤川の活用も併せて検討していただきたい。 また、コロナにより各事業を自粛していたため、コロナ以前のように参加者を回復させるためには、改善策が必要と思われる。	
【事業】 27 公民館図書整備事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○公民館図書室の環境整備 ○図書だより「ぼかぼか」の発行 ○県立図書館との連携		地域住民のニーズに対応した図書の購入や、幼児対象事業終了後に図書室で読み聞かせを行う等、施設の有効活用に努めている。今後も図書だよりの発行を通じて情報を発信し、貸し出し増加に繋げていきたい。
【事業】 28 社会教育団体等活動推進事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○芸術文化協会に対する活動支援 ○公民館主事協議会、PTA連合会、育成会、ボランティアサークル等に対する活動支援		各団体で、充実した活動を展開しているが、令和2年度については、コロナ禍により各団体とも活動を縮小又は中止せざるを得なかったため、今後も活動の活性化に向けて支援を継続する必要がある。
【事業】 29 成人式開催事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○成人式式典の開催 ○成人のつどいの開催に対する支援		実行委員を中心に企画・運営し、円滑に遂行されている。令和2年度はコロナ禍により開催を翌年度に延長している。成人式の開催に合わせ、青友の取り組みを紹介し、メンバー募集を図っている。今後も継続して成人者に町の取り組みを紹介する場としたい。

【事業】 30 生涯学習活動実践事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 町民講座については、町民等から興味をもって参加してもらうための内容の工夫等を行い開催している。 令和2年度についてはコロナ禍により規模を縮小した開催を行った。 今後も自主活動を支援し生涯にわたって学習する機会の充実を図る必要がある。
【取組】 ○町民講座の開催 ○家庭教育連携事業の実施 ○ブックスタート事業の実施 ○菜の花大学（高齢者教育）の開催		
【事業】 26 青少年自然体験事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 夏の一大イベントとして定着しており、親子での参加も多く好評である。 令和2年度についてはコロナ禍により事業が中止となった。 事業の実施にあたっては、社会教育関係団体からの協力が必要であるため、今後も継続して連携を図っていく必要がある。
【取組】 ○フェスティバル「ざっこしめ」の開催		
【事業】 31 町内会公民館等整備事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 本事業の要望調査等については、町内会長会議で毎年事業周知及び要望を取りまとめている。地域公民館の維持管理の観点から、今後も継続して支援を行っていく必要がある。
【取組】 ○町内会公民館等整備補助金の交付		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現	
施策 ※第3次	02 スポーツ・レクリエーションの振興	
内容	<p>【現状】 関係団体を育成支援し、スポーツを楽しむ環境を作り、町民及び会員等の体力・運動能力の維持向上を図ることを目的に取り組んでいるが、スポーツと健康との関わりで、ウォーキングなど軽スポーツを楽しむ人が増えているものの、それが町等が企画する事業の参加に必ずしも繋がっていない現状がある。</p> <p>【課題】 体育協会については、構成団体の活動の停滞化が進んでいること、スポーツ少年団については、少子化や競技種目参加の片寄りがみられること、スポーツクラブについては、今後も安定的に会員を増やすための施策が必要となっていることから、今後の方向性の検討とクラブの財源確保が必要である。</p>	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所見】 スポーツ・レクリエーション事業については、各団体の活動において感染症拡大の影響を大きく受けた。今後の活動再開に向け、以前のような体制に戻すには、一部改善策が必要と思われる。 アスレなの花の大規模改修については、公共施設長寿命化対策を基に、着実な事業実施をするとともに、利用者への事前周知をしっかりと行っていただきたい。	
【事業】 32 社会体育団体等活動推進事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○体育協会、スポーツ少年団、みかわスポーツクラブに対する活動支援		社会体育関係団体が連携を図り、スポーツ総合開会式、みかわスポフェスを実施した。 令和2年度はコロナ禍により中止となった事業や大会が多数あった。 今後も団体活動等の活動活性化に向けて、支援を継続していく必要がある。
【事業】 33 生涯スポーツ推進事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○町民運動会、みかわスポフェスの開催 ○指導者等に対する大会参加助成 ○東北大会、全国大会参加助成		みかわスポフェスは社会体育関係団体が連携して実施しており、今後も町民から楽しんで参加してもらえるスポーツイベントを考案していく必要がある。 令和2年度はコロナ禍により大会等が多数中止となったため、全国大会補助金等の交付が例年と比べると非常に少なかった。指導者等大会参加助成金については、スポーツ三川を通して広く紹介している。
【事業】 34 社会体育施設整備事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 ○アスレなの花改修工事		現時点では施設は大きな不具合の発生もなく安定的な運営が行われている。 アスレなの花の大規模改修については計画的に整備を進め、不具合発生箇所等については適宜適切な修繕対応等を行う必要がある。

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現	
施策 ※第3次	03 芸術文化の育成・継承・活用	
内容	<p>【現状】 文化財保護については、あまり変化が見られない。芸術文化祭については、地域文化の発展に資することを目的に「みかわ秋まつり」を毎年盛大に開催している。</p> <p>【課題】 毎年、みかわ秋まつりに出展される方々が高齢化し、新規の出展者もあまり増加しないことから、出展数が減少している傾向にある。 住民の芸術文化活動を通じた自主活動を進めていくには、新たな協力者など、将来的にも継続できるような形を模索していかなければならない。</p>	
【外部評価結果】 <input checked="" type="radio"/> 概ね良好 <input type="radio"/> 一層の拡充が必要 <input type="radio"/> 縮小の方向で検討すべき <input type="radio"/> 一部改善が必要	【所見】 秋まつりは町内外の来場者から一定の評価を受けている。引き続き出展数を確保しながら、町民に親しまれるイベントとなるよう、展示内容や方法等を工夫しながら継続していただきたい。	
【事業】 35 文化財保護保存事業	【所管】 教育委員会教育課 社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 <input type="radio"/> 文化財等の保護・保存 <input type="radio"/> 文化財保護審議会委員研修		文化財保護については、地区ごとに巡回点検を実施し、保存状況の確認等を行い保全に努めている。今後も文化財の掘り起こしを含めて事業を継続していく必要がある。
【事業】 36 芸術文化祭事業	【所管】 教育委員会教育課 社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 <input type="radio"/> みかわ秋まつりの開催 <input type="radio"/> 町民音楽会の実施		町民の活動の成果の発表の場として定着しており、出品者・来場者からは高い評価を得ている。 令和2年度についてはコロナ禍のため、例年より規模を縮小し感染対策に努めて開催した。今後も出品者、来場者の増加に向け工夫を図る必要がある。
【事業】 37 文化交流館事業	【所管】 教育委員会教育課 社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 <input type="radio"/> 野草を観る会の開催 <input type="radio"/> 雛人形展の開催 <input type="radio"/> みかわ秋まつり（特別展）の開催 <input type="radio"/> アトクすまいるライブの開催 ほか		特色ある施設利用として実施している「アトクすまいるライブ」は、参加者の要望に応え、日中開催として好評を得ている。令和2年度は、コロナ禍により野草を観る会と秋まつり特別展を中止、アトクすまいるライブ年1回の開催とした。 今後も魅力ある事業実施に努め、施設の利用拡大を図っていきたい。

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	15 豊かな自然環境の保全		
施策 ※第3次	01 資源循環型社会の構築		
内容	【現状】 限られた資源を大切に資源循環型社会の構築を図るためには、ごみの適正処理や減量化、さらには、廃棄物の再資源化など、資源の有効活用が求められている。協働推進会議等でも、地球温暖化防止やごみ処理量の削減、ごみの適正分別については、住民の関心も高くその重要性について浸透しつつある。 しかし、全町民からの理解と協力を得るところまでは至っておらず、より具体的な削減方法の周知と効果的な啓発方法を調査検討していくことが必要である。		
	【課題】 リサイクルの推進やごみの減量化に取り組む住民も増えつつはあるものの、全町民からの理解と協力を得るところまでには至っておらず、取り組みの継続と効果的な啓発方法について検討する必要がある。また、一般廃棄物の処理については、ごみステーション数の増加が課題である。 その他県内で増加しているごみ処理の有料化についても鶴岡市とともに調査研究していく必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	山形県内の先進自治体の状況調査を行う等、今後ごみ減量化対策を進めていただきたい。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
95 ごみ減量化等促進対策事業	建設環境課環境整備係	【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 :	
○資源リサイクルステーションの管理 ○町内会等における資源回収の支援 ○生ごみの減量化 ○資源ごみの回収促進		令和2年度改訂作業を実施した三川町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ減量化対策の充実を図る必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
96 廃棄物処理事業	建設環境課環境整備係	【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要	
【取組】		【所見】 :	
○ごみ収集運搬業務の委託 ○廃棄物処理業務の委託 ○ごみ収集車の維持管理		廃棄物の処理業務は、町民が日常生活を営む上で必要不可欠なものであり、環境に配慮した適正な収集運搬及び廃棄物の処理業務を継続していく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】		【所見】 :	

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	15 豊かな自然環境の保全	
施策 ※第3次	02 親しまれ愛される自然環境の保全	
内容	<p>【現状】 森林は、洪水・渇水の緩和、土砂流出や地球温暖化の防止など様々な働きを持ち、私たちに多くの恵みをもたらしている。しかし、木材価格の低迷や農山村地域の過疎化、化石燃料に依存した生活様式の変化などから、林業離れや人と森との関わりの希薄化が進み、手入れの行き届かない森林が増加し、森林全体の公益的機能を維持・保全することが困難になっている。</p> <p>【課題】 森・川・海をつなぐ水環境や森林等の自然環境を維持していくためにも、森林の公益的機能を回復・保全する取り組みを引き続き継続する必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
<ol style="list-style-type: none"> ① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	森林の保全を図るため、やまがた緑環境税を原資とした森林資源の積極的な利活用と周知を引き続き行っていただきたい。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
97 みどり環境推進事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 :
○県みどり環境交付金を活用した植樹や県産材を利用した施設設備の整備		森林の公益的機能の保全は、当町へも大きな利益をもたらすことから、地域住民を対象とした環境や森林に対する意識の高揚や啓発活動を続けていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	15 豊かな自然環境の保全	
施策 ※第3次	03 限られた資源の有効利用	
内容	<p>【現状】 地球温暖化防止対策の推進は、全世界的な課題であり、各地域での取組みの重要性が増している。さらに東日本大震災以降の電力不足に対する節電のためにも本事業の重要性が増してきている。その根本となる温室効果ガスの排出抑制等について、グリーンカーテンを設置することにより、電気使用量抑制の実践活動と、来庁者への啓発活動、循環型社会の構築など、地球温暖化防止に対する抑制と啓発につながる。</p> <p>【課題】 地球温暖化防止の必要性について、さまざまな啓発活動を行いながら豊かな自然環境を保全する取り組みについて、町民それぞれの立場の中で実践できるように継続的に情報提供を行う必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
<ol style="list-style-type: none"> ① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	<p>グリーンカーテン、出前講座などの取組みを継続しながら町民に対する啓発を図り、今後も地球温暖化対策を進めていただきたい。</p>	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
98 地球温暖化防止推進事業	建設環境課環境整備係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 :
<p>○地球温暖化対策地域協議会に対する活動支援 ○ゴーヤ栽培によるグリーンカーテン設置 ○エコキャップ推進運動</p>		地球温暖化対策地域協議会の活動支援と、環境に配慮した活動の実践などを通じて温室効果ガス削減の必要性等を広く町民に周知していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	16 魅力的な居住空間の創造	
施策 ※第3次	01 快適で利便性の高い居住環境の整備	
内容	<p>【現状】 人口の減少が進むなか、定住人口の増加を目指して住宅建設費補助を行うことにより、町内建設業等の振興と定住人口の増加が図られている。</p> <p>【課題】 平成23年度から実施している「山形県住宅リフォーム総合支援事業」との整合性を図る必要がある。さらに、安全・安心な生活空間確保を図るため、既存住宅の建替え、建設、新築・中古住宅の購入促進施策を一層推進していかねばならない。</p>	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】 住まいづくり支援事業や移住定住促進事業については、今後も事業を継続いただきたい。また、雨水排水対策については、安全な住宅地開発に向けて早急に取り組みを進めていただきたい。	
【事業】 90 住まいづくり支援事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○住宅建設・購入に係る費用の補助 ○住宅リフォーム、危険ブロック塀等撤去に対する補助 ○住宅用太陽光発電システム設置補助		核家族化の進展や安全・安心な生活空間の確保など住宅に関する多様な需要に応じた支援を行っている。今後も、山形県住宅リフォーム総合支援事業を活用しながら、住まいづくりに対する支援を継続していく。
【事業】 79 移住定住促進事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○町外からの移住のための住宅取得に対する支援		定住促進並びに地域経済の活性化を図るため、今後も移住者を増やす取り組みを継続する必要がある。
【事業】 91 雨水対策推進事業	【所管】 建設環境課環境整備係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 ○雨水排水の現況を調査し、必要に応じて雨水排水施設の整備を実施する。		令和元年度に押切地区の雨水排水計画の策定及び歌枕排水機場の雨水ポンプ1台の改修を実施した。今後、浸水被害の発生が予想される地域の雨水排水計画策定等に基づいて排水路整備等に取り組んでいく必要がある。

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	16 魅力的な居住空間の創造	
施策 ※第3次	02 魅力ある公園や緑地の整備	
内容	<p>【現状】 河川緑地内に舗装整備された通路や駐車場がないうえ、水飲み場や清潔なトイレ等の設備がない。また、河川増水時に安全に避難するための誘導看板等が不足している。</p> <p>【課題】 町民等来訪者が利用できる水飲み場や清潔なトイレの設置が必要である。また、安全で魅力的な公園にするため、河川緑地内及び公園内の通路、坂路、案内・誘導看板等の整備が必要である。 また、施設の適正な維持管理体制の確立が必要とされている。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	かわまちづくり整備事業については、利用を促進するための環境整備や周知を行っていただきたい。また、都市公園整備事業については、利用者の安全対策の徹底を図っていただきたい。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
93 かわまちづくり整備事業	建設環境課建設係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】	【所見】 :	
○赤川河川緑地ふれあい広場の整備工事	町民に、憩いや健康づくり、スポーツやレクリエーションの場を提供するため、赤川河川緑地ふれあい広場の整備を今後も促進する必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A 達成できている
94 都市公園整備事業	建設環境課建設係	【今後の方向性】 : 1 事業完了による終了
【取組】	【所見】 :	
○袖東公園の改修工事 【令和2年度で事業終了】	三川町子育て交流施設に隣接する袖東公園のトイレや駐車場についてバリアフリー化工事を行い、より利用しやすい公園になるよう整備した。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】	【所見】 :	

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備		
施策 ※第3次	01 交通網の充実		
内容	<p>【現状】 本町のみならず庄内全域の発展に資する高速交通網の整備や高齢者等の交通弱者の生活交通手段の確保を図る必要がある。その中で、日沿道の整備については、新潟・秋田の両県境区間が都市計画段階評価の対象となり、大きく前進している。 町内を運行するデマンド型乗合タクシーは、登録者は増えているものの、利用者が減少傾向にある。</p> <p>【課題】 日沿道をはじめとする高速交通網の早期着工については、引き続き関係自治体や地域の住民・企業等と連携して、一層の要望活動を展開する必要がある。 デマンド型交通システムについては、大幅な利用者数の落ち込みに対し、利用者ニーズに対応した事業展開を図らなければいけない。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	<p>高齢者の生活交通確保のため、デマンドタクシーの利便性の充実について検討していただきたい。また、雨水排水対策として、側溝整備を早期に進めていただきたい。</p>		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C あまり達成できていない	
86 高速交通網整備促進対策事業	企画調整課企画調整係	【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 :	
<p>○日沿道の早期開通、羽越新幹線整備、新庄酒田地域高規格道路等の建設促進に向けた要望活動 ほか</p> <p>○庄内空港の利用促進</p>		<p>日沿道の早期全線開通に向けて、両県境区間等のさらなる事業進展が望まれる。また、コロナ禍により利用が低迷している庄内空港に対しては、県、2市3町連携事業等の実施により空港利用拡大への支援を行っていく必要がある。 高速交通網の整備については、引き続き地域間の連携を図りながら粘り強く要望活動を行っていく。</p>	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
87 地域公共交通推進事業	企画調整課企画調整係	【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 :	
○デマンド型交通（デマンドタクシー）システムの運行		<p>デマンドタクシーの運行については、路線定期運行バスの今後の状況を注視しつつ、運行事業者と調整しながら町外運行の実現など利用者の目線に立った拡充策を検討する必要がある。</p>	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
82 道路舗装事業	建設環境課建設係	【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取組】		【所見】 :	
○交通量が多く舗装路面の損傷が多い路線の計画的な舗装改修整備		<p>舗装路面の亀裂・沈下等の経年劣化が進行していることから、道路舗装の長寿命化・コストの縮減・予算の平準化を図りながら、道路長寿命化修繕計画に基づいた計画的な修繕が必要である。</p>	

【事業】 83 側溝整備事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○道路冠水が発生する路線等に係る計画的な道路側溝の整備		異常気象等によりゲリラ豪雨が多発する傾向にあるため、浸水被害の多い箇所について側溝整備を進めるとともに、狹隘道路の側溝整備により道路幅員を確保し、安全な道路環境の整備に努めていく必要がある。
【事業】 84 道路安全施設整備事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○整備必要路線の検討及び計画的な施設整備		幅員の狭小な道路における歩道や防護柵等について、歩行者や自転車通行の安全を確保するため、計画的に整備する必要がある。
【事業】 85 橋梁長寿命化対策事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○橋梁長寿命化対策に係る点検、維持補修工事の計画的な実施		定期的な橋梁点検により損傷状況の把握を行い、老朽橋梁について計画的な維持修繕工事を実施し、安全な交通を確保していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備	
施策 ※第3次	03 住宅の安全性や安定したライフラインの確保	
内容	<p>【現状】 近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図り、開発行為、宅地造成等による地形変化に対応した社会資本施設の整備が必要となっている。その中でも、冬期間の交通確保については、早急な整備が必要である。</p> <p>【課題】 冬期間における季節風の影響により、通行不能となる路線があるため、防雪施設については、計画的な整備が必要となっている。 また、昭和60年代に整備された施設については、歩行者に配慮した施設への改良や部材の劣化等に伴う施設の長寿命化を検討する必要がある。</p>	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】 空き家対策について、空き家バンク等も含め各種制度の周知に努め、利活用の促進を図るとともに、空き家の所有者に対して、適正に管理するよう注意喚起の徹底を図っていただきたい。	
【事業】 88 防雪対策事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○防雪柵や除雪車等の防雪施設の計画的な整備		冬期間の積雪による通行障害を早期に解消するため、除雪車を1台増強した。今後は、地吹雪が多発する路線への防雪柵設置を早期に行い、安全な道路環境の整備に努めていく必要がある。
【事業】 92 空き家対策支援事業	【所管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○空き家バンク事業による支援 ○老朽危険空き家等の解体への補助		広報による周知に加え、令和2年度から空き家に関する無料相談会を開催するなど、空き家バンクや老朽危険空き家等解体促進事業等の周知を行った。今後も、継続して増加する老朽危険空き家の減少を促進していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備	
施策 ※第3次	05 住宅の安全性や安定したライフラインの確保(下水特会)	
内容	<p>【現状】 下水管路(汚水)整備は、既存住宅区域のほぼ全域で完了している。なお、近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図るため、豪雨による浸水(雨水)被害の防止等を図るため、排水路・ポンプ場整備を早急に進める必要がある。</p> <p>【課題】 下水管路(汚水)整備及び流域公共下水道の整備については、宅地開発の動向を注視しつつ、計画的な実施が不可欠である。また、排水ポンプ施設の整備は、赤川の河道掘削や月山ダムの洪水調整機能等も考慮し、その整備手法について、調査研究していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	下水道ストックマネジメント計画等に沿い、今後も計画的に整備を進めていただきたい。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
89 下水道事業	建設環境課環境整備係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 : 下水道ストックマネジメント(修繕・改築)計画に基づいた下水道施設の改築等を行っていく必要がある。
○特定環境保全公共下水道の整備 ○最上川下流域下水道庄内処理区建設負担金 ○公営企業会計への移行		
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	18 防犯・防災・交通安全対策の充実	
施策 ※第3次	01 防犯対策の強化	
内容	<p>【現状】 近年の犯罪は、凶悪化、巧妙化、広域化しており、町民生活にとって大きな脅威となっている。さらに、本町には大型ショッピングセンターがあり、交流人口が多いことから、街頭犯罪の防止を図るため、事業所や防犯協会、家庭、学校、町内会などと連携して、規範意識の確立や防犯意識の醸成、防犯施設の整備などを通して、地域における防犯活動を強化している。</p> <p>【課題】 防犯灯のLED化などによる消費電力と維持管理経費の縮減について検討する必要がある。 また、本町には大型商業施設があり、交流人口が多いことから、引き続き各種防災関係機関・団体・企業等と連携を図りながら、犯罪抑止に努めていく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
<ol style="list-style-type: none"> ① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	LED防犯灯の整備を進め、今後も地域における防犯力の向上に努めていただきたい。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
56 安全で明るい町づくり推進整備事業	総務課危機管理係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取組】		【所見】 :
○防犯灯の設置・修繕 ○防犯灯のLED化の促進		通学路等の安全を図るため、未整備箇所であった路線の防犯灯の整備を行った。 また、町内会における防犯灯の整備に関しては、LED化支援制度によりLED化率の向上が図られており、引き続き支援していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	18 防犯・防災・交通安全対策の充実	
施策 ※第3次	02 災害対応力の強化	
内容	<p>【現 状】 東日本大震災を契機に、地震や津波に対する災害に対する住民の意識が高まるなか、地域防災計画を見直し、津波・洪水ハザードマップを作成するなど、防災意識の高揚に努めている。</p> <p>【課 題】 地域防災計画については、必要に応じて改定・見直しを行っていく必要がある。また、地域防災計画等に基づき、地域防災力の向上を図る必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所 見】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	災害に強いまちづくりのため、引き続き自主防災組織との連携や、計画的な災害対応資機材等の整備を行っていただきたい。	
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : A 達成できている
54 常備消防事務委託事業	総務課危機管理係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取 組】		【所 見】 :
○常備消防事務の鶴岡市への委託		常備消防・救急業務は、町民の生命及び財産を守るために必要不可欠であり、今後も継続していく必要がある。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : A 達成できている
55 消防ポンプ整備事業	総務課危機管理係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取 組】		【所 見】 :
○消防車両及び消防ポンプの整備・更新		消防ポンプ整備計画に基づき、年次的に整備を行っており、今後も継続していく必要がある。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
49 自主防災組織育成助成事業	総務課危機管理係	【今後の方向性】 : 2 現状維持
【取 組】		【所 見】 :
○災害訓練実践町内会助成金の交付 ○訓練の充実に向けた訓練計画段階からの町内会への支援 ○転入世帯への非常用持出袋の配布		新型コロナウイルス感染症の影響により自主防災会訓練等を実施した町内会は6町内会に留まったが、防災講話等の防災学習の必要性を感じている町内会は多数あり、支援を継続する必要がある。 また、令和2年度から実施を予定していた防災士養成講座受講助成については、新型コロナウイルス感染症予防のため講座自体が中止されたが、令和3年度以降も継続する必要がある。

【事業】 50 地域防災事業	【所管】 総務課危機管理係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○災害対応資機材の整備 ○町民への防災に関する情報の提供 ○防災行政無線の機能強化		令和2年7月豪雨の経験を踏まえ、青山地内の防災行政無線子局の機能強化を行ったところである。 また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所内における衛生環境の確保を目的に水タンク、非常用トイレといった衛生備蓄品の増強を重点的に実施したところであり、引き続き優先順位を付けながら備蓄品の充実を図ることとする。
【事業】 51 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○農村環境改善センター空調設備改修及び倉庫（ホール増築部分）の屋根及び外壁の改修		現時点では農村環境改善センターは適正に管理運営されている。 長寿命化に向けた実施設計が完了したので、計画的に改修整備を進めていく。不具合発生箇所については適宜適切に対応していく必要がある。また、子育て交流施設の開館に合わせて一般貸出ししなくなった多目的ホールの利活用を進めていく必要がある。
【事業】 52 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 総務課総務係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○役場庁舎サーバー室移設 ○役場庁舎冷暖房更新		災害時を想定したサーバー室の移転に着手したところであり、引き続き、庁舎の防災対策及び長寿命化対策を計画的に実施していく必要がある。
【事業】 53 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 教育委員会教育課学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○押切小学校施設改修		令和2年度は学校施設改善交付金の交付を受け押切小学校の大規模改修工事（第3期）を実施した。令和3年度は最終となる第4期工事の実施を行い、学校施設の適正な維持管理に努める必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	19 発展性の高い土地利用の推進	
施策 ※第3次	01 地域特性に応じた土地利用の推進	
内容	【現状】 適正で秩序ある土地利用の推進を基本としながら、地理的条件の優位性や道路網等の社会基盤の整備を進めることにより、民間による商業集積や工業団地、産業団地の開発が進められてきた。 今後も土地利用の需要を把握しながら、適正な土地利用の推進を図る必要がある。	
	【課題】 雇用の場の確保として開発を進めてきた「みかわ産業団地」については、計画区域内最後の区画の分譲が終了し、今後新たな工業団地、産業団地の開発のため、農用地との土地利用調整も含めた計画策定が求められる。 また、定住促進策として新たな住宅団地の開発を検討しており、排水対策の検討と併せて、具体的な開発手法を検討する必要がある。	
【外部評価結果】		【所見】
1. 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		みかわ産業団地や桜木地区住宅団地の拡張を早期に進めるとともに、進捗状況について情報発信を行っていただきたい。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
81 地域開発推進事業	企画調整課企画調整係	【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○産業団地拡張に向けた実施計画の策定 ○新たな住宅団地形成のために必要な調査・調整 ○重要事業に係る要望事業活動の展開		産業団地の拡張に必要な、県、土地改良区及び農協等関係機関・関係者との協議を進め拡張計画の策定を完了し、企業の動向を踏まえながら、造成に向けた計画の検討が必要である。 新たな住宅団地開発の計画を策定し、開発に必要なインフラの整備に向け調整が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	21 活力ある産業の育成		
施策 ※第3次	01 活力ある農業生産活動の育成と支援		
内容	<p>【現状】 米を主要農産物としている本町の農業は、米価の低迷等厳しい現状におかれており、農業者にとっては相対的な生産費が増加し、かつ国の大幅な政策変更もあって、今後の経営計画における将来ビジョンを描きにくい状況におかれている。 そういった中で、農業の生産性向上のため、各種事業を有効に活用しながら、農業経営に要する費用負担軽減を支援し、総合的な農業生産基盤を整備し、農業経営の安定に取り組んでいる状況である。</p> <p>【課題】 認定農業者をはじめ、農業経営者の高齢化、担い手不足などにより、農地の保全や多面的機能の発揮が求められている。 農作物は気象条件と市場性に左右されるものであり、収入の基幹をなす米価も年々低下するなど厳しい経営環境にある。 今後は集落における農地集積や担い手確保のための方向性を協議し、継続可能な農業農村の経営方針を明らかにしていく必要がある。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	町単独事業は評価できる。人・農地プラン推進事業については、より効果が発揮できるよう、区域の見直しを含めた取り組みを検討する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
57 流通対策事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】 : 5 縮小の方向で検討すべき	
【取組】	【所見】 :		
○野菜価格補償による振興作物等の安定生産と支援	三川町特定野菜等価格安定運営委員会の取り組みが、JA出荷販売部分のみが価格保証されることが独占禁止法に抵触する恐れがあると指摘があり、令和2年度以降打ち切りすることとした。なお、県青果物価格安定対策事業は対象市場が複数あるため、今後も継続して支援する。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
58 食のまちづくり推進事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 :		
○小中学校の米飯給食、地産地消に対する支援 ○三川産米を活用したPR活動	子ども達の食育と地域農業に対する理解を深め、地産地消の推進を図るため、今後も継続して取り組む必要がある。三川産の美味しいお米をPRするために、11月からのつや姫、有機つや姫、雪若丸の回数や町内の保育施設での交流給食も検討が必要である。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
60 瑞穂の郷づくり事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○大規模水田農業経営者に対する支援 ○有機米・特栽米生産者に対する支援等	高齢化、担い手不足の中、大規模集積が進んでいるため、効率性向上を図る直播を支援し、また、こだわりの米づくりの有機・特栽栽培米を支援する色彩選別機の導入を継続して支援する必要がある。一方、農業事業を総体的に支援するため事業整理を行う。		

【事業】 63 国営水利施設管理体制整備促進事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 土地改良施設の効果は広く地域住民に及ぶことから、その機能は維持強化していく必要がある。
【取組】 ○国営水利施設の維持管理費支援		
【事業】 65 経営改善支援活動事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○農業経営基盤強化資金利子に対する助成		農業従事者の高齢化に伴い、離農する方が年々増加しているが、認定農業者数は一定数維持できている。引き続き農業経営基盤強化準備金制度や町独自の補助事業による支援を行い、農業従事者の経営改善、農業所得の向上を図っていく必要がある。
【事業】 59 はっぴー米メモリアル事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○婚姻・出生・転入の記念に三川産米の贈呈		三川産米のPRと消費拡大、並びに人口増加のための政策は意義のあるものであり、今後も事業を推進していく必要がある。
【事業】 64 土地改良施設整備事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○京田川防災減災事業により二丁、二丁堀排水機場の設置 ○東3号幹線用水路等の改修		豪雨等による冠水等の被害を防止するため、排水施設整備を図っていく必要がある。
【事業】 66 リーディングファーマーズ銀行事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○機械購入等にかかる借入金に対する利子補給支援		農業経営の規模拡大や効率化を推進するうえで、農業者の経営判断並びに金融機関の審査を経て農業設備等を整備する農業者への導入・更新に対する支援を図っていく必要がある。
【事業】 67 多面的機能支払交付金事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○農用地や用排水路などの農業関連資源や農村環境を守る活動の支援		地域の農地や農業用水路等の保安全管理など農村環境を守るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に向け、今後も継続して推進していく必要がある。

【事業】 68 環境保全型農業直接支払交付金事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 環境の維持・保全への関心が高まる中、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが重要となっており、継続した支援の必要がある。
【取組】 ○地球温暖化防止や生物多様性保全など環境にやさしい農業への取り組みの支援		
【事業】 61 農産所得拡大支援事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○施設園芸等において農産所得を向上させる取り組みを行う者に対する支援		生産の目安により米生産面積が減少する中、水稻以外の園芸作物等で農産所得を向上させる取り組みを継続して支援する必要がある。一方、農業事業を総体的に支援するため事業整理を行う。
【事業】 69 人・農地プラン推進事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 ○人・農地プランの作成 ○機構集積協力金の交付 ○農業次世代人材投資資金の交付		それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「人・農地プラン」を今後も継続して推進する必要がある。 次世代を担う新規就農者を確保するために、関係機関と相談内容を共有化するなど、連絡体制を整備し、支援体制を強化する必要がある。
【事業】 62 新農業所得構造改革推進事業	【所管】 産業振興課農政係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 ○スマート農業導入支援 ○土づくり支援		高齢化、担い手不足の中、大規模集積が進んでいるため、今後もスマート農業導入支援に継続して取り組む必要がある。また、7月に発生した集中豪雨、高温など異常気象が発生している中で高品質生産が求められているため、継続して土づくり支援事業に取り組む必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和2年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第3次	21 活力ある産業の育成	
施策 ※第3次	02 魅力と成長力に富んだ商工業活動の振興	
内容	<p>【現状】 全国的には緩やかながら回復基調にあるものの、地域経済への波及は限定的で、加えて燃料費をはじめとした原材料費の高止まり傾向が続くなど、依然として町内商工業者を取り巻く環境は厳しく、見通しは不透明な状況にある。 このような中、商工業者の経営基盤の強化と地域経済活性化のための施策が求められている。</p> <p>【課題】 商工業者の経営基盤確立のため、出羽商工会による経営指導強化や円滑な資金調達のための金融対策を継続的に実施していく必要がある。 地域経済活性化のため、一層の需要（消費）拡大と新規事業開拓等に意欲的に取り組む事業者に対する支援が必要である。</p>	
【外部評価結果】 ① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】 引き続き、商工業者への支援を行いながら、各種事業の情報発信を更に進めていくとともに、町の特産品については、PR支援の強化や新たな特産品開発が必要である。	
【事業】 71 地域おこし協力隊活動支援事業	【所管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 町の魅力やイベントなどの情報発信を中心に活動し、一定の効果があつた。
【取組】 ○地域おこし協力隊員の活動に対する支援		
【事業】 73 勤労者福祉対策支援事業	【所管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要 【所見】 : 未組織勤労者等の企業等で働く勤労者に対するセーフティネットとして、活用してきたが、利用者が少ないため、全ての勤労者（公務員を除く。）が活用できるよう制度の見直しを図る必要がある。
【取組】 ○勤労者生活安定資金の貸付 ○日本労働者信用基金協会保証料補給金の支援		
【事業】 70 中小企業等振興支援事業	【所管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 商工業者の経営基盤の強化のため、商工会による指導とともに特産品開発及び観光振興のため継続して支援する必要がある。 令和2年度は、新型コロナウイルス関連の臨時交付金を活用し、町内の中小企業等の支援事業を行った。
【取組】 ○出羽商工会の活動に対する支援 ○買い物弱者対策の推進 ○プレミアム付商品券の発行支援 ○中小企業等の人材確保等の支援		

【事業】 80 若者定着奨学金返還支援事業	【所管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : B 概ね達成できている
【取組】 ○奨学金の返還に対する支援		【今後の方向性】 : 2 現状維持
		【所見】 : 県と連携し、若者が地元に戻り就業することを促進するための取組みとして継続していく必要がある。
【事業】 72 「田から(宝)もの」逸品開発事業	【所管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : C あまり達成できていない
【取組】 ○「田から(宝)もの」開発に対する支援		【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要
		【所見】 : 町外の事業者の力も借りながら、三川町をPRできる商品の開発と、それに携わる人を発掘する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
		【所見】 :

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	22 交流人口の拡大	
施策 ※第3次	01 交流基盤の再構築	
内 容	<p>【現 状】 人口減少が進むなか、いろり火の里施設における交流の拡大や町観光協会主催の観光イベント及び人的ネットワーク等の活用により、地域活性化を図っている。</p> <p>【課 題】 本町の活性化及び町民所得の向上を図るには、観光振興は重要であり、みかわ振興公社や三川町観光協会を中心に、広域的な観点にたつて関係機関団体が連携した取り組みを計画的、かつ持続的に実施していくことが必要である。</p>	
【外部評価結果】	【所 見】	
<ol style="list-style-type: none"> ① 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要 	コロナ禍による利用者の減少について、感染防止に目を配りながら、利用者の回復に努めるとともに、先を見据えた経営戦略を立てて取り組む必要がある。	
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている
74 「いろり火の里」推進事業	企画調整課企画調整係	【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要
【取 組】		【所 見】 :
○「いろり火の里」施設の大規模改修と機能強化に向けた施設設備の整備改修		施設の老朽化に対応し、魅力ある施設の整備を図る。また、コロナ禍により休業したことも含め利用が大幅に落ち込んだことから、利用回復並びに更なる集客のため指定管理者との連携を強化していく。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取 組】		【所 見】 :
【事業】	【所 管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取 組】		【所 見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	22 交流人口の拡大		
施策 ※第3次	02 交流基盤の強化		
内容	<p>【現状】 少子高齢化に加え、長引く景気低迷などにより地域経済の活力が低下しているなかで、各種交流活動を通じた地域の活性化が求められている。 特に、町観光協会を中心として多様化する観光ニーズに対応するとともに、地場産品の販路拡大などに努めている。 また、国際化社会に対応できる人材育成を目指し、マクミンビル市との中学生の国際交流を継続的に行っている。</p> <p>【課題】 望郷みかわ会との交流活動を通じて、人的ネットワークの活用等を図っていく必要がある。 町観光協会と連携しながら交流人口の拡大を図り、町の産業振興に結び付けていく必要がある。 国際感覚を養い、広い視点を持つ人材の育成を推進していく必要がある。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	各種事業については、関係団体・組織等との連携強化を図るとともに、コロナ禍の中、取り組み方を工夫しながら、できる形で交流機会の創出を図っていく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C あまり達成できていない	
76 婚活推進事業	企画調整課企画調整係	【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要	
【取組】	【所見】 :		
○未婚男女の出会いイベントの開催 ○婚活推進事業等に対する支援	県や近隣市町、やまがた出会いサポートセンター等と連携を図りながら広域的な取り組みを継続して展開していく一方、従来型の婚活イベントについては、リモートによる実施などを検討する。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C あまり達成できていない	
77 ふるさと会交流促進事業	産業振興課商工観光係	【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○望郷みかわ会活動に対する支援	望郷みかわ会会員が減少しているため、会員増加につながるよう支援していく必要がある。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、総会開催なし。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B 概ね達成できている	
75 観光対策事業	産業振興課商工観光係	【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○三川町観光協会活動に対する支援 ○広域観光圏活動との連携推進	交流人口の拡大に繋がる魅力あるイベント開催や、交流人口の拡大による関係人口の繋がりを深めていく必要がある。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントは「みんなで秋の感謝祭」のみ開催。		

【事業】 78 国際交流推進事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : C あまり達成できていない
【取組】 ○マクミンビル市と本町の中学生の相互派遣交流にかかる旅費等の支援		【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : R2年度はコロナにより生徒を派遣することができなかった。今後しばらくコロナにより派遣を伴う交流を実施することが困難であることが見込まれることから、R3年度は派遣によらない交流方法を行いながら、生徒たちの国際交流の機会を設けていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	23 協働の推進	
施策 ※第3次	02 協働の推進	
内容	<p>【現状】 人口減少・高齢化時代の到来にともない、これまで地域コミュニティが担ってきた活動が衰退し、行政ニーズの増加につながっていくことが予想される。自らの地域づくりや課題解決に向けた取り組みについては、行政がすべて支援するのではなく、地域住民が力を合わせて「協働」による取り組みを推進しながら、地域コミュニティの活性化に向けた支援体制を維持している。</p> <p>【課題】 「協働」に対する意識醸成と取り組みの活性化を図るため、協働事業提案制度を活用しながら、自らからの地域課題解決に取り組む団体等を育てる必要がある。</p>	
【外部評価結果】 <ol style="list-style-type: none"> ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要 	【所見】 町内会や各種団体等の活動が促進されるよう、要望等に対応した支援をしていく必要がある。	
【事業】 99 協働のまちづくり推進事業	【所管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 令和2年度より町内会から強く要望のあった「遊具の点検や整備」と「掲示板の整備」を事業対象に加えた結果、利用実績は伸び、今後においても高いニーズが見込まれることから、引き続き町民の自主的な協働事業への創出を促していく。
【取組】 ○町内会が実施する施設整備等に対する支援 ○町内会や各種団体による主体的な協働活動への支援		
【事業】 100 地域づくり活動推進事業	【所管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : まちづくりのためには、地域の自主的な取り組みが不可欠であり、今後もその取り組みを支援していくため、財政的支援やコミュニティ活動支援員の派遣などに引き続き取り組んでいく。
【取組】 ○町内会総合交付金の交付 ○コミュニティ活動支援員の派遣 ○移住交流促進のためのPR・相談活動		
【事業】 104 総合計画策定事業	【所管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 1 事業完了による終了 【所見】 : 町を取り巻く社会の変化に的確に対応しつつ、持続的な発展をめざして次期計画の実現に取り組んでいく。
【取組】 ○令和3年度から10年間を計画期間とする第4次三川町総合計画の策定		

令和2年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第3次	24 行財政改革の推進	
施策 ※第3次	01 行政サービスの質的な向上	
内容	<p>【現状】 地方分権の進展及び多様化する行政ニーズに対応しながらも、交付税をはじめとした財源確保が厳しいなか行政運営を行っていくためには、人員適正化計画に伴う職員の適正配置をはかりつつ、行政事務の大幅な効率化を図っていく必要がある。</p> <p>【課題】 人員の適正化に伴い、人件費の抑制を図るためには、行政事務を効率的に運用し、なおかつ行政サービスの質的向上を図るために民間や専門業者への業務委託等を活用していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】 <ol style="list-style-type: none"> ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要 	【所見】 デジタル化が進展する中において、高齢者等にも配慮した情報発信に努めていただきたい。	
【事業】 103 電子情報化推進事業	【所管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの作成・管理 ○電子申請システムの整備・運用 ○総合行政ネットワーク(LGWAN)の運営 ○山形県・市町村情報セキュリティクラウドの運用 		災害や町民の関心の高い情報に関して、迅速な提供が求められており、ホームページの他、SNSなどを活用し、正確かつタイムリーで、より魅力のある情報の発信に努めていく。
【事業】 102 行政事務システム化推進事業	【所管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所見】 :
【取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○情報ネットワークと各種システム、関連機器の管理 ○社会保障・税番号制度対応業務 ○情報セキュリティ強化対策 		行政事務手続き等のデジタル化の動きが加速しており、本町でも国が示す方針に沿って展開していく必要がある。今後も情報システムの一層のセキュリティ強化を行うとともに可能な限りコスト削減に努めていく。
【事業】 105 戸籍システム推進事業	【所管】 町民課住民係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 :
【取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○戸籍システムの整備・管理・運営 ○戸籍副本データ管理システムの整備 		迅速な謄抄本の交付が可能になり、住民サービスが向上した。関連戸籍が一括管理され、記載作業も効率化が図られ、かつ正確性が保たれている。今後も戸籍事務へのマイナンバー制度導入に向けてのシステム改修を推進する必要がある。

【事業】 106 学校給食調理業務等委託事業	【所管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている
【取組】 ○小・中学校における給食調理業務等の民間委託		【今後の方向性】 : 2 現状維持
		【所見】 : 民間業者の専門的な技術と経験を活用するために学校給食調理業務を委託している。増加傾向にある食物アレルギーをもつ児童生徒に適切に対応しながら、「自校調理方式」により安全・安心な学校給食の提供を継続していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
【取組】		【今後の方向性】 :
		【所見】 :

令和2年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第3次	24 行財政改革の推進		
施策 ※第3次	02 人材育成と組織・機構の見直し		
内容	<p>【現 状】 地方分権が進み、地方自治体に自己決定と自己責任に基づく自主自立の精神が強く求められ、職員には制度を画一的に執行する能力だけでなく、高い専門性と多様な住民ニーズに応え、行政課題を着実に解決する能力が求められる。</p> <p>【課 題】 今後ますます推し進められる地方分権に対応するためには、職員の資質の向上が不可欠であり、そのためには計画的に研修を積み重ねる必要がある。</p>		
【外部評価結果】	【所 見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき ④. 一部改善が必要	職員の資質向上のため、オンライン研修の活用を図る等、今後も職員研修の充実に努めていただきたい。		
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : C あまり達成できていない	
101 職員研修事業	総務課総務係	【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要	
【取 組】		【所 見】 :	
○職員の企画立案による視察研修等 ○専門的な研修の受講		新型コロナウイルスの影響により、先進地視察等の研修を実施することが出来なかったところであるが、今後、オンライン研修の活用を図るなど、引き続き、職員の資質向上に努めていく。	
【事業】	【所 管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取 組】		【所 見】 :	
【事業】	【所 管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取 組】		【所 見】 :	